

第十二回気象文化大賞 受賞者（国内・アジア・太平洋）

一般財団法人 WNI 気象文化創造センターでは、国内・アジア太平洋地域における気象の減災・自助・共助、経済的利用、環境問題などをテーマとした実用・実践的な研究活動について表彰・助成しております。

本大賞では 2022 年 2 月 ～ 4 月にかけて公募し、選考委員会（東京大学 中須賀真一氏を選考委員長とする）による厳正かつ公平な審査のもと、助成先を決定いたしました。本大賞の結果を次に示します。

受賞者	所属機関	テーマ	助成額
名越利幸	岩手大学研究支援・ 産学連携センター	科学教育用気象シミュレーター「クレス」の教育実践 と市民への普及・啓発に関する研究	100 万円
瀧本家康	宇都宮大学 共同教育学部	市販の放射温度計を活用した気温の遞減率と雲底高度 の測定実験の開発と実践	80 万円
内田紀之	東京農工大学	大気中二酸化炭素の超高感度検出を可能にする構造色 センサー	100 万円
Dr. Asudeb Dutta	Green PMU Semi Private Limited	Design & Development of Energy Harvesting solution for Environment Sensor 環境センサー用の環境発電ソリューションの設計と開 発	120 万円
南部拓未	宮城県仙台第三高等 学校	G I S やタイムラインを用いた防災・減災教材の開発 －地震・大雨等を起因とする災害対策－	100 万円
岩崎博之	群馬大学 共同教育学部	気象衛星ひまわり赤外多波長データを用いた落雷予測 のための基礎研究	90 万円
伊藤優香	個人	ひこうき雲の観測と実験	80 万円
山崎政彦	認定 NPO 法人 大学 宇宙工学コンソーシ アム	地震先行電離圏変動現象検知のための CubeSat のフラ イト・モデル製作に向けて：衛星バス・サブシステムの 打ち上げ環境および宇宙環境適応試験	100 万円

Toshiyasu	Laboratory for	Drone ionospheric potential measurement providing	240 万円
NAGAO	Environmental	surface ionospheric temperature	
	Research at Mount	表面電離層温度を提供するドローン電離層ポテンシヤ	
	Fuji, Certified NPO	ル測定	
	Mount Fuji Research		
	Station		
Masashi	Natural Disaster	Hybrid probes of DC-HF electric-field and plasma	250 万円
KAMOGAWA	Research Section,	measurement for more than 6U CubeSat and parasitic	
	Global Center for	payload of small satellite observing atmospheric and	
	Asian and Regional	space electricity	
	Research, University	6U 以上のキューブサットと、大気と宇宙の電気を観察	
	of Shizuoka	する小さな衛星の寄生ペイロードの DC-HF 電気およ	
		びプラズマ測定ハイブリッドプローブ	
楠城一嘉	認定 NPO 法人 富士	地面の揺れのビクデータから富士山の火山活動監視	100 万円
	山測候所を活用する		
	会		